

令和4年度医学部医学科卒業証書・学位記授与式を執り行いました

令和5年3月24日(金)、長崎大学医学部記念講堂にて、令和4年度医学部医学科卒業証書・学位記授与式が執り行われ、124名の卒業生が新たな門出を迎えました。

今年度は、平成30年度以来、4年ぶりに来賓や保護者の皆様もお招きし、挙行することができました。

池松和哉医学部長からは、卒業生へ教員からの最後のメッセージとして「長崎大学を卒業する皆さんは、医療者であるだけでなく、幅広い教養を身に付けた学士である。卒業後も医学はもちろん、幅広い教養についても学び続けるとともに、社会に存在する諸問題の解決に向けて、理性的に臨み続けてほしい。」とはなむけの言葉が送られました。

また、卒業生代表の古川雅大さんは、「これから医師として歩み出すことに心躍る反面、気が引き締まる思いでもある。一步一步着実に前進し、挑戦を続け、医療の一端を担うことができるように励んでいきたい。」と答辞を述べました。

長崎大学医学部医学科は、医療人になるための一步を踏み出された卒業生の皆様の門出をお祝いし、今後のご活躍とご健勝を心より祈念いたします。



池松医学部長 式辞



卒業証書・学位記授与